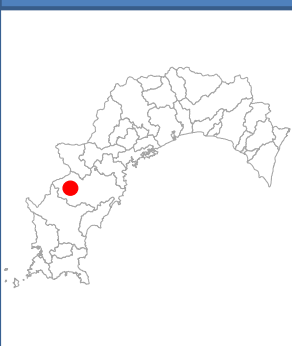
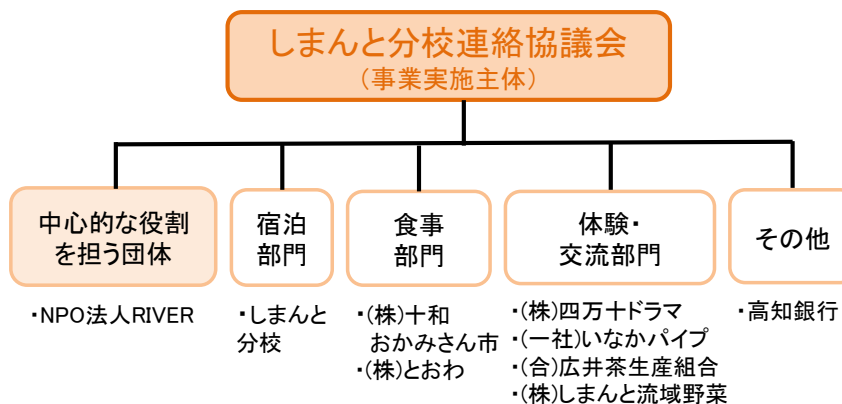


- 限界集落として人口減少、高齢化が進み、地域産業である栗・茶・椎茸などの一次産業や文化が廃れつつある今、新たに建設した宿泊体験型の施設「しまんと分校」を年間で活用し、都市部の関係人口を増やしていく。
- 川・田・畑・山を舞台に地域住民を先生として地域産業を体験する「実技」と、あらゆる専門家から広い視点で地域の文化・歴史について学ぶ「座学」をセットにしたゼミを開講し、食も絡め地域の文化を継承していく。

高知県高岡郡四万十町



【実施体制】



【採 択 年 度】
令和5年度

【事業実施期間】
令和5～6年度



一次産業の現場で学ぶ
「実技」

【特徴的な取組】

- 地元的一次産業を本格的に体験(川漁、茶摘み、椎茸のほだ場、栗の収穫など)
- 地元住民と一緒に作る夕飯づくりと懇親会(郷土料理や鮎の塩焼き、ツガニ汁、栗おこわなど)
- ただの体験ツーリズムではなく、先生とのディスカッションを大切にしたい参加者の五感を刺激するゼミ



研修施設を活用した
「座学」



地元先生による
川舟体験



地元住民も参加する
懇親会



地元先生に教わる
栗のむき方

【取組内容】

1. 観光から一歩踏み込んだ学びの場を提供
→川・田・畑・山それぞれのコンテンツごとにゼミ生が得られる評価制度を導入し、次のゼミへの参加につなげる
2. 年間通じて四万十に来たくなる仕掛けづくり
→現在8回のゼミを開講(山菜、茶、川、地紅茶、栗、芋、椎茸、野菜)し、1月に1～2回を目標に来年以降もブラッシュアップして取り組む
3. 四万十への関係人口の増加
→地域の活動をPRすることで四万十のファンを増やし、移住者や産業の継承者を育てるきっかけとしていく
4. インバウンドへの対応
→外国語案内表示やネット予約対応、スタッフの英語力強化により、外国人向けのビジネスとしても成長させていく



沈下橋での記念撮影



郷土料理(田舎寿司)



鮎の塩焼き

宿泊施設の対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約